

経営安定借換資金に関する計画書

企業名又は氏名

【経営安定借換資金】該当する貸付要件 (□のいずれかにチェック)

<input type="checkbox"/> セーフティネット保証各号
<input type="checkbox"/> 直近3ヶ月間の売上高又は経常利益率が過去2年いずれかの同期と比べて、5%以上減少
<input type="checkbox"/> 危機関連保証 (大規模な経済危機、災害等発生の場合)

1 売上高又は収益性の状況 (セーフティネット保証又は危機関連保証に該当する場合は本項目への記入不要)

区分		最近3ヶ月 (年 月 ~ 月)	前年の同期 (年 月 ~ 月)	2年前の同期 (年 月 ~ 月)
①	売上高	A 千円	B 千円	C 千円
	減少率		$((B-A) / B \times 100)$ %	$((C-A) / C \times 100)$ %
②	収益性	最近3ヶ月 (年 月 ~ 月)	前年の同期 (年 月 ~ 月)	2年前の同期 (年 月 ~ 月)
		()	()	()
		_____ = ()	_____ = ()	_____ = ()

- 注1) 上記内容を確認(証明)できる書類を添付のこと。
 2) 収益性とは売上高経常利益率をいう。(収益性 = 経常利益 ÷ 売上高)
 3) ①又は②の該当になるいずれかに記入のこと。

2 主な取引金融機関の状況

①	②	③
---	---	---

3 効果

(経営安定借換資金によって事業はどうか、中長期的に業況が回復し、発展すると見込まれる理由)

区分	【今期】 年 月 ~ 年 月	【翌期】 年 月 ~ 年 月	【2期】 年 月 ~ 年 月	【3期】 年 月 ~ 年 月
売上高	千円	千円	千円	千円
収益性	%	%	%	%
売上高や収益性が向上される具体的な根拠理由				
その他の効果及びその理由				

- 注1) 今回の経営安定借換資金が売上高や収益性の向上にどのように役に立っているのか具体的に記入すること。
 2) その他の効果には、売上高に区分できない効果を、具体的かつ極力定量的に記載すること。